

学校訪問シリーズ2

臼杵市立北中学校から学ぶ

学校の教育目標「『わかる』『つたえる』『つながる』北中学生の育成」の実現のために、育成を目指す資質・能力を「知識・技能」「関係形成力」「自己・他者理解」と教育目標とリンクさせ、それぞれの主要主任を中心に計画的、継続的に実践を行っています。

学校経営から学ぶ

冒頭、亀井校長先生が「数年前までは自分が先頭を走っていた感があったが、今は教頭先生やそれぞれの主任が、学校の教育目標を意識して動いている」と、笑顔で話してくれました。そのとおり、協議ではそれぞれの担当主任が、自信をもって取組の進捗を説明され、教頭先生が全体の進行管理をされていることが伝わりました。

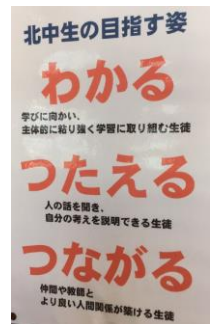
最上位の目標（生徒にどのような資質・能力を育成するのか）は教職員や生徒に共有されているので、そのための手段や方法については、それぞれの主任や担当に任せられることができるでしょうね。

その中でも私が特に注目したことは、中間試験や期末試験を廃止し、授業の振り返りテスト（ホップテスト）、単元末テスト（ステップテスト）、複数の単元による実力テスト（ジャンプテスト）を組織的に行っていることです。このことは、生徒が繰り返し学習することを目的とした、効果的なテストの在り方（手段）だと思いました。

さらに、集会や行事では生徒が自分の意見や感想の発表をする場を必ず設けたり、生徒に家事を分担させるためのゲームを取り入れたりしています。また、ノー残業日（部活も含む）を水曜に加え月曜も行っています。このように、各重点目標達成に向けた取組が、前例踏襲で無く、目的と手段を明確にしながら発展的に行われていると感じました。

授業から学ぶ

全8学級の授業では、効果的な学び合いが行われていました。ペアやグループでの意見交流を全教科毎時間行うことを目標にしていることや、人間関係づくりプログラムの継続的な成果だと思いました。また、指導案や生徒のワークシートには、単元目標も明確に書かれていました。今後とも本時だけで無く単元のゴールを明確にした実践が行われることを期待します。



NO.98 2022年9月 臼杵市立北中学校

学びは楽しい

学び合うと、いろいろな考えがあることがわかる。だから、楽しく学ぶことができる。



NO.97 2022年9月 臼杵市立北中学校

積極観察

実際に観察すると、予想したことと異なることがある。その理由を考えるのも楽しい。



NO.99 2022年9月 臼杵市立北中学校

大切な事

プレー以外にも共に協力するから、気持ちが通じるようになる。だから、パスもつながる。



NO.96 2022年9月 臼杵市立北中学校

自分らしさ

自分らしさを表現したいからいろいろと工夫する。そして、世界に一つだけの作品になる。

